

◆ 防災・減災まちづくりフォーラムが開催されました

平成 25 年 11 月 23 日の午後、アクロスあらかわにて、平成 25 年度防災・減災まちづくりフォーラムが開催されました。

『いざというときに備えて ～今自分たちができることは何か？を改めて考える～』と題して、東京大学加藤孝明准教授の講演や、町屋地区の防災まちづくり協議会会員とのパネルディスカッションのほか、荒川区内の密集市街地のまちの移り変わりや区の防災まちづくりの取組みについてご紹介しました。



講演では、東日本大震災発生後の地震災害における地域の皆さんの意識の変化のなかで、自助・公助・共助の考え方について改めて考える必要があること、そのうえで、自分たちができることとしては、荒川区で起こりうる災害に対するイメージや現在の地域の危険性への認識を持つことの重要性を確認しました。

パネルディスカッションでは、町会、商店会、消防団と様々な立場から協議会に参加されている会員の皆さんから、まちづくりへのかかわり方についてご紹介いただきました。先生からは、1つの組織では1つのことしかできないかもしれないが、色々な組織の方が関わることで多くの効果を生み出す可能性があり、様々な組織がつながっていけるような役割を協議会では担う必要があるとご意見をいただきました。

なお、来年度も防災・減災まちづくりフォーラムの開催が予定されています。



加藤先生による講演



密集市街地の街並みの移り変わりの説明



パネルディスカッションにおける意見交換



パネル展示等による区の取組みの紹介



町屋二・三・四丁目地区のまちづくりに関するお問い合わせは、



荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課
Tel. 3802-3111 (内線) 2829 担当：古谷、茂手木

町屋二・三・四丁目地区 防災まちづくり



発行：町屋二・三・四丁目地区防災まちづくり協議会
荒川区防災都市づくり部防災街づくり推進課
編集協力：ランドブレイン株式会社

まちや!タイムす!

第28号

平成26年3月発行

今後のまちづくりに向けた取組みを進めています!

町屋二・三・四丁目地区では、「安全で住みよい、暮らしよいまち」の実現をめざし、地区計画が策定されたあとのまちづくりについて検討を進めています。

まちづくり協議会では、地区計画で決めたまちづくりのルールをどのように地域の方に知っていただくかを考えながら、身近なまちの課題を確認し、目標の実現に向けた取組みを進めています。



協議会の取組み等について

平成25年度
《活動テーマ》自分たちの住んでいるまちの再発見

地図や現地を見ながら町屋地区の再発見をしました。

■地区の良いところ、課題点の把握

- ①地図をみながら、地区の良いところ、課題点について意見交換
- ②地区内ウォーキングによる現地の確認



地区の良いところを残し、課題点を解決するために協議会でできることについて検討しました。

■まちづくりの実現に向けた具体的な取組みの検討

【地区の課題】①道路の拡幅整備の実現 ②老朽化した建物の建替え更新
⇒関係する権利者等の協力が不可欠

【取組みの視点】

“どのように住民に働きかけ、まちづくりを進めていくか”を視点に取組み内容を検討しました。

- 町会等の会合に参加し地区計画等の説明を行う
- 『まちや!タイムす!!』の発行などによる情報発信を行う



平成26年度以降の取組み

◆ まちづくり協議会の取組み ～地区内ウォーキングを実施しました！



去る11月30日の昼間、町屋二・三・四丁目地区内ウォーキングを実施しました。現地を実際に歩きながら、地区のまちなみ、拡幅の進んでいる道路を確認しました。現地視察後は、地図で歩いてきたルートを確認しながら、地区の課題点等について意見交換を行いました。

●地区内ウォーキングの概要

【日時】平成25年11月30日（土） 10時～12時

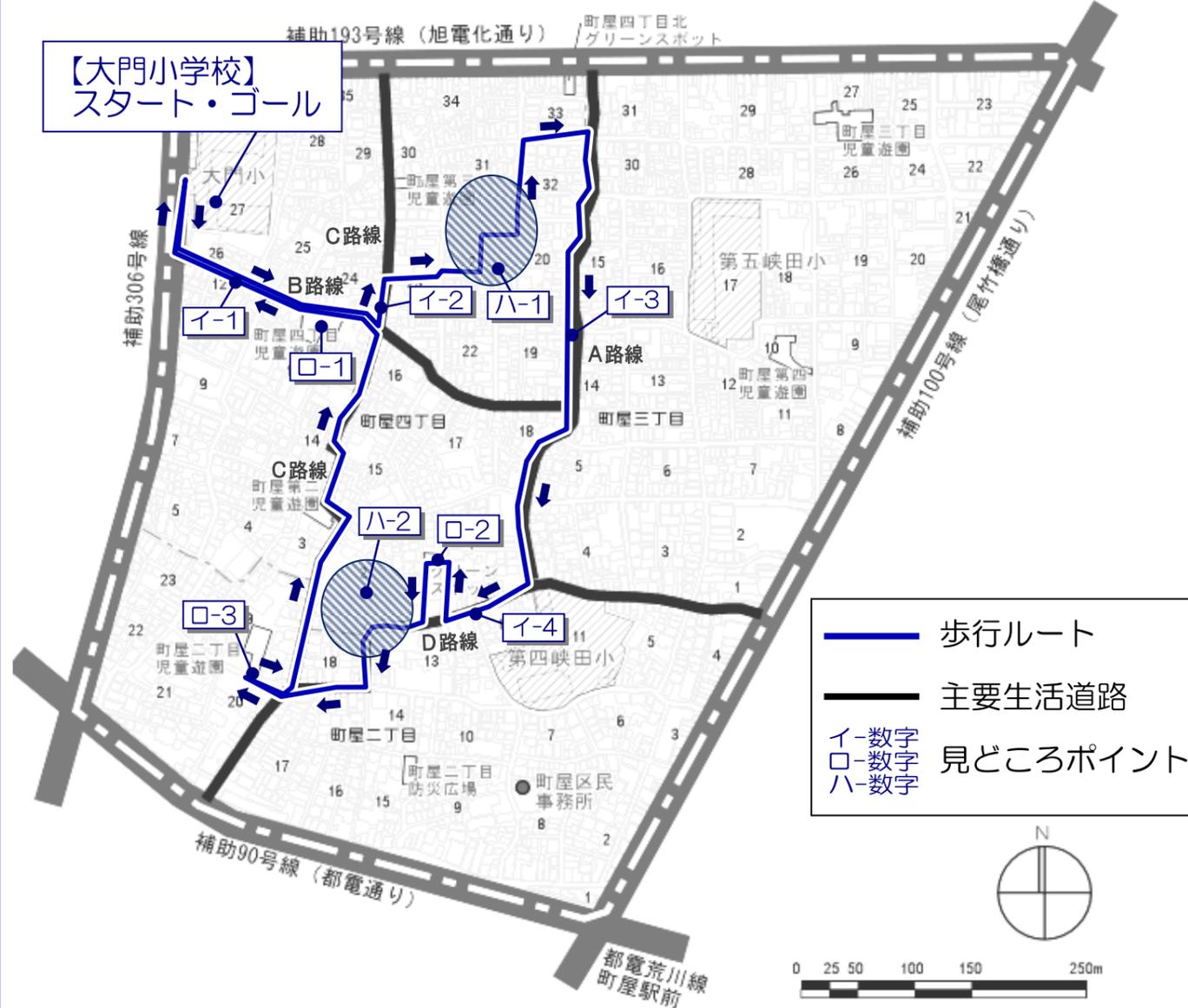
【場所】町屋二・三・四丁目地区

【内容】（1）地区内ウォーキング （2）意見交換

●ウォーキングの見どころポイント

- イ：主要生活道路の現況及び整備状況
- ：公園・グリーンスポット等の整備状況
- ハ：密集した住宅地の現況 など

●ウォーキングのコース



地区内ウォーキングの様子

見どころポイント“イ”：主要生活道路

地区内には主要生活道路が4路線（幅員6m）位置づけられています。整備が済んでいるところ、まだ整備されていないところそれぞれを見学しました。



イ-1：B路線（未整備） イ-2：C路線（未整備） イ-3：A路線（整備済み部分） イ-3：A路線（未整備） イ-4：D路線（未整備）

見どころポイント“□”：公園・グリーンスポット等

密集事業で整備された公園や区で用地を取得し整備したグリーンスポットを見学しました。



□-1：町屋四丁目児童遊園 □-2：町屋四丁目グリーンスポット □-3：町屋二丁目児童遊園

○今回の見学ルートには入っていませんが、平成25年3月、町屋四丁目にグリーンスポットが整備されています。

見どころポイント“ハ”：密集した住宅地

建築してから時間が経過した住宅が密集する地区を確認しました。



ハ-1：住宅が密集した地区

ハ-2：住宅が密集した地区



【地区内ウォーキング後の意見交換の主な内容】

★道路に関する意見

- 特に、主要生活道路については、整備が必要であるが、拡幅を伴うものについては実現が難しい。
- 最低限の道路幅員（4m）を確保すべきである（建替えもできない）。

★公園に関する意見

- 公園には防災井戸やマンホールトイレ等の防災機能を必ず設けるべきである。
- 公園整備の際は人や車の動線等、周辺居住者の意見を聞いて整備するべきである。

★建物に関する意見

- 建替えのできないような敷地に建っている老朽化した建物があり、空き家となっているところもあるなど防災面で心配である。
- 共同化しなければ建物の更新も難しい。

★まちづくりに関する意見

- 東日本大震災での経験や、平成25年9月に都から公表された地震における地域危険度調査の結果（総合危険度で町屋4丁目が1位）を踏まえて、災害に対する意識は高まってきているように思われる。

